



テンテキセンセキ

校長 尾崎 淳一



先週の「高校説明会」の校長挨拶として、私が3年生の皆さんにお話しした内容です。

先日、「乾坤一擲」(けんこんいってき)という四字熟語を紹介しました。**運命を賭けた大勝負**という意味でしたね。本日の「高校説明会」では、公立高校・私立高校・専修学校の計8校の先生方から話を聴くことができます。3年生の皆さんにとっては、**進路に向けて「大勝負」の始まり**です。

ところで、皆さんは**竜北中学校**を選んで入学したのでしょうか。ほとんどの人は「**NO!**」と答えるでしょう。公立中学校は住所によって進学先が決められているため、特に竜北中を希望した訳でも難関入試を突破して竜北中へ入学した訳でもないのです。

しかし、高校入試は違います。**自分の好きな学校を自由に選べばよい**のです。素晴らしいことですね。ただ、それぞれの学校には、「**求める生徒像**」があり、入学するには**求められる学力や実技**を身に付ける必要があります。そのため、希望する学校のことを詳しく知ることが大切になります。そして、それに向けて努力をしなければいけません。今日の「高校説明会」は、とても貴重な機会なのです。

ここで、元国語教師の尾崎淳一が、四字熟語をもう一つ紹介します。「**点滴穿石**」、読めるでしょうか。「**てんてきせんせき**」です。「**小さなことでも根気強く続ければ、大きな成果を手に入れられる**」という意味があります。3年生は、**粘り強さと大切な場面でのパワー**を兼ね備えた、素晴らしい学年です。**一滴の水が、やがて硬い石に穴を開ける**ように、持ち前の粘り強さとパワー、修学旅行でも大切にしたい「**挑戦・礼儀・協力・笑顔**」を活かして、希望の進路を目指していきましょう。



三重県の南部に、「**熊野の鬼ヶ城**」と呼ばれる国の名勝(めいしょう:景色が良いことで知られている土地)があります。平安時代の征夷大將軍・**坂上田村麻呂**が、この地を荒らし廻って鬼と恐れられていた**海賊・多娥丸(たがまる)**を征伐したという「**鬼ヶ城伝説**」が残る地です。また、数回の大地震で隆起した**凝灰岩の大岩壁が波に侵食され**、数々の特徴のある洞窟や絶壁が並び、まさに名勝です。崖沿い

に遊歩道がありますが、私が訪れた時は強風が吹いており、身体ごと吹き飛ばされ、海に吸い込まれそうでした。調べてみると、**凝灰岩**は軽くて軟らかい岩石のようです。しかし、写真のように穴が空いたり、表面が削れたりするには、長い時間がかかることでしょう。

小さな力の積み重ねが大きな力となる実例ですね。まさに、「**点滴穿石**」です。

先週金曜日には、**三組5名の竜北生に『竜北賞』**を手渡すことができました。一組目は、**全国レベルでサッカーに励んでいる2年生**です。また、**よりよいクラス作りに向けて、自ら声掛けと実践**に取り組んでいます。二組目は、「**かきつばたボランティア**」として、**小5から継続して地元の清掃活動に参加している3年生2名**です。三組目は、**給食の片付け時に、進んでワゴンの整理等に取り組む3年生2名**です。皆さんの活躍に感謝しています。



今後も、それぞれの「よさ」「得意なこと」を生かした活躍を取り上げ、『**竜北賞**』の表彰をします。話の最後には、「**竜北賞3枚**で私の直筆似顔絵を差し上げます」と**出血大サービス**のお知らせをしましたが、特に歓声等はありませんでした……。何故？

雨降り予報が続きますね。体調管理を意識して、「**雨ニモ負ケズ**」に「**竜北生、G o!!**」

多くの保護者の皆様に、「高校説明会」にご参加いただき感謝いたします。ただ、機器のトラブル等のため、時間延長してご迷惑をお掛けしました。今後の反省点いたします。

(令和8年6月23日)